

玉造教会ニュース

1月号

発行：玉造教会 評議会

編集：玉造教会 広報委員会

〒540-0004

大阪府中央区玉造2-24-22

TEL 06-6941-2332

FAX 06-6941-2605

シャローム

2017年1月1日 410号

トモヤ君

心のかもったお菓子を頂いてどうもありがとうございます。

人のために何かを丁寧に作り上げてプレゼントすること、それは素晴らしいことで、私はこう思うのです。人間は自分をより良いものにしていくべきである、と。何故なら、色々な人々と接していくわたし達は真心を持って自分を、あるがままの自分をプレゼントすることが何より大事であるからです。

プレゼントという言葉を使いましたが、正にトモヤ君とアヤミちゃんからのプレゼントがそうでした。美味しいものを造り、美味しく喜んで食べてもらいたい。食べた人の笑顔を見ることで、一言の感謝の言葉をかけられることで、自分をもっと幸せになる。つまり、もっと良いものになっていくのです。

トモヤ君の手紙とお菓子を頂いて印象に残ったのはダーラナホースでした。馬は不思議な動物で、その馬に魅力を感じているトモヤ君。夢と言いましょうか。人間は何かを夢見ます。大きくなったらあれになりたい、これをしたいという風にです。けれども、考えて見ると夢はこの先の未来に何かになるとか、何をするとするものではなく、夢と共にわたし達が変わっていく、より良いものになっていく気付いたら、わたし達が夢そのものになっているような気がします。要するに、夢を外からではなく、自分の内から生きていくことです。

同封する写真は韓国の王宮のうち最も格の高い景福宮（キョンボックン）の勤政殿（クンジョンジョン）の階段の欄干に置いてある石の馬です。勤政殿は国家儀式や外国からの使節を接見する大事な建物でした。建物は二重の基壇の上に建てられています。基壇には石の欄干が巡られており、その四隅と階段の欄干の上にそれぞれ十二支の動物が石で造られています。馬の石獣は南の方の階段を上り切ったところの欄干上部に作られています。誰が入って行ったのかと面白がっている風に勤政殿の方を振り向いている体を取っています。

この馬は間違いなくトモヤ君と私より長く生きてきました。元々景福宮は15世紀末に建てられましたが、約100年後豊臣秀吉による戦争により焼かれて廃墟になっていたのを19世紀に再建したものです。1865年のことです。

わざと壊さない限り、また壊される可能性はゼロに等しいですが、トモヤ君よりも長くこの世に居続けることでしょうか。勿論、トモヤ君や私より経験も豊かでしょうか。要するに、わたし達の他にこの世の中には価値あるものが沢山あるということです。その価値というのは、長い時間を逃げずに自分の持ち場で耐え忍ぶことによるものではないでしょうか。200年以上を、あの石の馬は何を見、何を考えているのでしょうか。

神様の豊かな恵みがありますようにお祈りします。

お送りのダーラナホースのしおりは『毎日のミサ』に挟んでごミサの時にお共させて頂きます。どうもありがとうございます。

アヤミちゃんにも宜しくとお伝えをお願いします。

2016年11月 崔 周永

上記の手紙は来年復活祭に洗礼をお母さんと共に受ける為に、月二回土曜日午後3時の洗礼準備講座に通っている小学校6年生、トモヤ君への手紙です。アヤミちゃんは彼の妹で小学校1年生、とても元気な女の子です。2人は、手作りのお菓子・北欧スウェーデンの幸運をもたらすダーラナホースのしおりをプレゼントしてくれました。